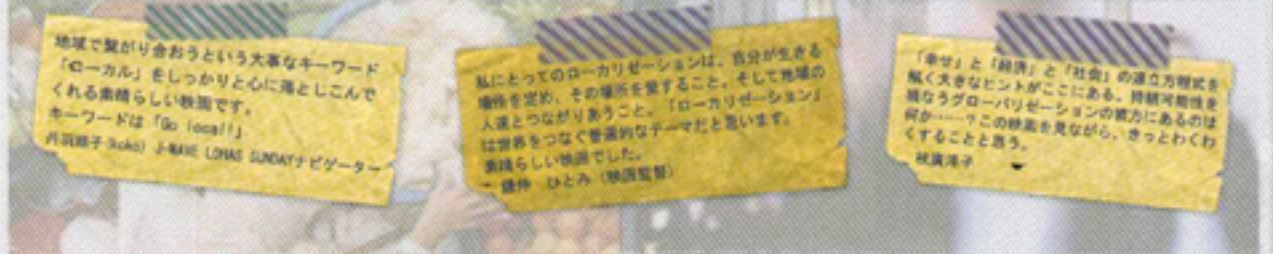


今こそ、グローバルからローカルへ！

「ローカリゼーションの促進は環境・経済の崩壊から私たちを救うだけでなく私たちが生きる地球との繋がりを再発見させてくれます。そして、私たちの暮らしをより意味深く幸せなものにしてくれます」

—監督ヘレナ・ノーバーク=ホッジ、スティーブン・ゴリック、ジョン・ページ



地域で繋がりが会おうという大事なキーワード「ローカル」をしっかりと心に落としこんでくれる素晴らしい映画です。
キーワードは「Go local!」
片岡麻子 (Mako) / 子姪 LONIS SUNDAY / ビグター

私にとってのローカリゼーションは、自分が生きる場所を定め、その場所を愛すること。そして地域の人達とつながりあうこと。「ローカリゼーション」は世界をつなぐ普遍的なテーマだと感じます。
素晴らしい映画でした。
— 後藤 ひとみ (映画監督)

「幸せ」と「経済」と「社会」の連立方程式を解く大きなヒントがここにある。持続可能性を掲げるグローバル化の真実があるのは何か……？この映画を見ながら、きっとわくわくすることだろう。
萩真子

この映画は失われてしまった人と人とのつながりを私たちの手に取り戻し、より良い世界を作っていくために行動しよう！と呼びかける映画です。

◆ あなたは人生の「豊かさ」をどんなものさしではかりますか？

今まで世界では、経済成長が「豊かさ」の定義だと信じられてきました。しかし、アメリカの世論調査によると、人びとの「幸福度」は1996年をピークに下がりに続き、50年前に比べれば3倍に増え、物質的には十分に満たされているはずの現代の暮らしですが、なぜ人びとの幸福度が下がっているのでしょうか。そんな中、ブータン国王が「国民全体の豊かさ・幸福度」を示す指標「GNH」(GNPのG=ProductをH=Happinessに置き換えた造語)を提唱したことにより、「モノではない豊かさ」について多くの人が関心をもち始めるようになりました。「幸せ=物質的な豊かさ」ではなくなった今こそ、経済成長の追求に代わる新しい「豊かさ」を考える時なのではないでしょうか。この映画は、これからの私たちの暮らしのあるべき姿の1つを教えてください。

◆ ローカリゼーションをキーワードに世界をつなぐ



この映画は、「開発」という名の消費文化に翻弄されるラダックの人びとの姿を追いながら、グローバル化が世界で引き起こす「8つの負の側面」について紹介しています。アイデンティティーの崩壊、スラム街の増加、自然資源の浪費、文化の消滅など、様々な問題の解決と糸口となるのが「ローカリゼーション」だと監督のヘレナさんは語ります。まずは、人の手を離れて困れ上がった経済を私たちの手に取り戻す、経済のローカリゼーションを提案。そして、地域のものを守る(地産地消)運動「ローカルフードムーブメント」も、生物多様性、地域経済、コミュニティを復活させるなど、いくつもの効果をもたらすと語っています。また、映画の後半では、デトロイトの都市計画やイギリス発祥のトランジション・タウンムーブメントなど、持続可能な暮らしを目指すコミュニティの暮らしにスポットを当てていきます。



◆ 監督ヘレナ・ノーバーク=ホッジ

スウェーデン生まれ。世界のローカリゼーション運動のバイオニア。ISEC (International Society for Ecology and Culture) 創設者、代表。1975年、言語学者としてインドのラダック地方に入り、ラダックで暮らす人々と共に、失われつつある文化や環境を保全するプロジェクトLEDeSを開発。この活動が評価され1996年に、もう一つのノーベル賞と知られるライト・ライブラリッド賞を受賞。ダライ・ラマ法王の訪問も受けている。著書「ラダック懐かしい未来」は40ヶ国語に翻訳されたベストセラー。

全国100ヶ所同時上映会参加

「幸せの経済学」上映会@信州・原村
「新エネルギービジョン・人々が支える田園回生サイクルのむら」
人も地域も輝く緑豊かな八ヶ岳山麓の原村。
「幸せの経済学」の上映をきっかけに、改めて原村の素晴らしい暮らしを見つめ直してみませんか？

【日時】2011年5月22日(日) 開場13:30 上映14:00
【場所】八ヶ岳自然文化園 <http://www.lcv.ne.jp/~bunkaen/>
【料金】一般 1,000円・学生 500円

◆映画「幸せの経済学」(The Economics of Happiness) 概要◆
【HP】日本語: <http://www.shiawase.no.net> 英語: <http://www.theeconomicsofhappiness.org>
【監督】ヘレナ・ノーバーク=ホッジ、スティーブン・ゴリック、ジョン・ページ
【制作】The International Society for Ecology and Culture (ISEC)
【配給・宣伝】ユナイテッドピープル株式会社 (<http://www.unitedpeople.jp>)
映画「幸せの経済学」を製作したThe International Society for Ecology and Culture (ISEC) は文化・生物多様性の保護に携わる活動をするNPOです。寄付などの詳しい情報は、以下URLまで。
【ISEC】<http://www.isec.org.uk>

会場整理やチラシ配布のボランティアスタッフを募集中です。
また地域活性化の理念に燃える企業様の協賛もお願い致します。
■お問合せ・お申込 rakkan@road.ocn.ne.jp
090-6124-8203 清水
主催: Nature People gathering
共催: アトリエ DEF
協力: X-jam 制作部